

# — 3月定例会 —

## 第2回

定例会が2月23日～3月17日までの間開催され、平成28年度当初予算を含む63件の議案が審議されました。また、8名の議員が一般質問に立ち、市政課題について議論が行われました。

## 平成28年度

## 一般会計予算の概要

### 収入

農業所得の大半を占める米価の回復や軽自動車税の新税率適用などを踏まえ、市税収入は対前年度比8、372万円の増を見込む。また、同様に地方消費税交付金も1億6,000万円の増収見込。一方で、地方交付税は87億円と前年度比2億円の減収となるが、ふるさと納税による寄付金や、あきた未来づくり交付金を始めとした県支出金等の大幅な増額により、一般会計予算総額は190億円と過去5年で最大規模。

### 支出

職員数の減少に伴い人件費は前年度比約1億円の減少。また、認可保育園（だしのこ園・神代こども園）の法人化に伴い物件費は前年度と比較し約3億円減少したが、同法人設立に伴う「すこやか子育て保育料助成事業費」、「教育・保育施設給付費」の増額と、生活保護費等の増により、扶助費は約3億1,000万円のプラスとなっている。普通建設事業費はクニマス未来館建設や、クリオンプールの改修、堆肥処理施設整備をはじめとし、約20億4,000万円（前年度比+1億7,860万円）が盛り込まれた。また、公債費は元利償還金の減少により前年度比で約2億2,000万円のマイナスとなっている。

## ストップ人口減少 子育て・定住支援に重点

# 88億1,299万円を可決

## ・企業会計予算198億1,299万円

平成28年度  
特別会計  
企業会計予算  
(千円)

集中管理特会	4,122,700	同(神代診療所勘定)	102,700	雲沢財産区特会	3,400
下水道事業特会	753,200	後期高齢者医療特会	291,800	簡易水道事業特会	545,800
集落排水事業特会	460,600	介護保険特会	478,700	病院事業会計	8,129,228
国民健康保険特会(事業勘定)	4,036,100	生保内財産区特会	82,600	温泉事業会計	83,942
同(田沢湖診療所勘定)	29,500	田沢財産区特会	29,800	水道事業会計	635,508

### 平成28年 第2回 仙北市議会定例会賛否が分かれた議案 (招集日: 2/23 最終日: 3/17)

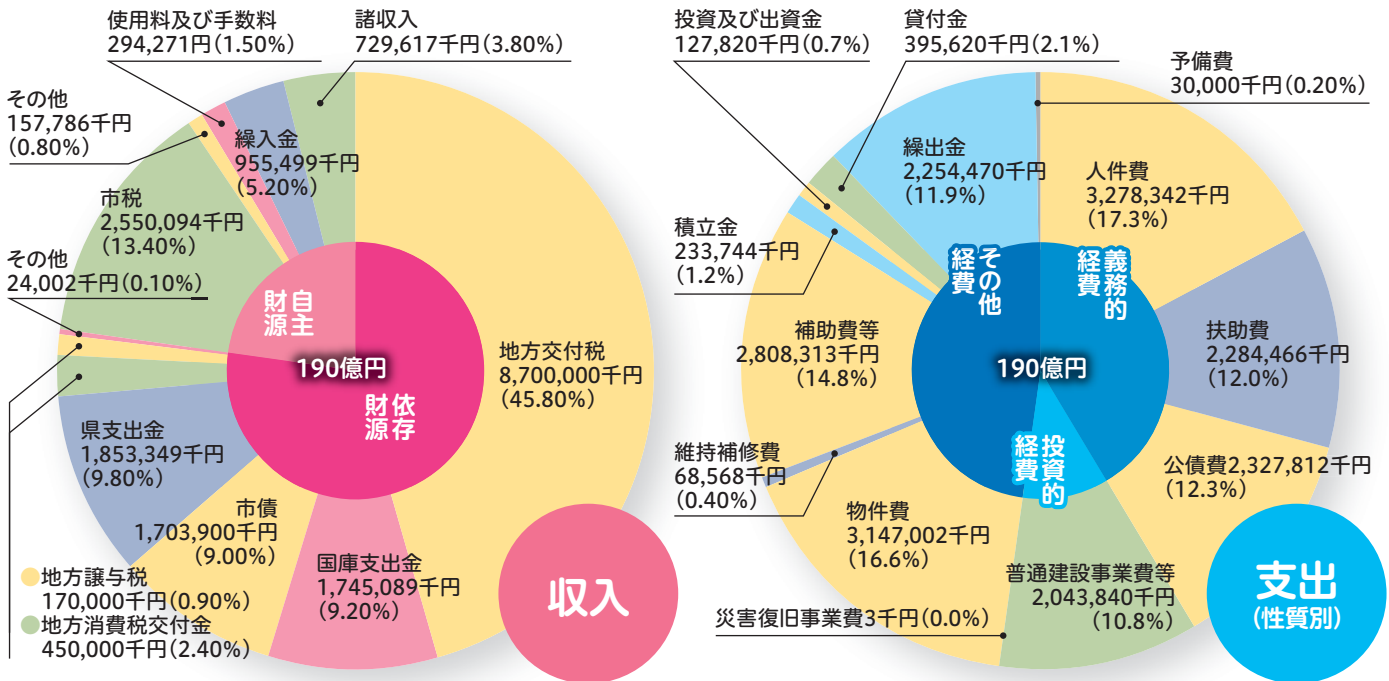
議案番号	会派及び氏名等 件名	議決 月日	議決 結果	仁政クラブ					翠鸞会			民政会議			市民 クラブ		会派に属しない 議員			
				黒沢龍己	田口寿宜	佐藤大成	高橋 豪	稲田 修	小林幸悦	真崎寿浩	荒木田俊一	大石温基	伊藤邦彦	安藤 武	門脇民夫	八柳良太郎	小田嶋忠	平岡裕子	熊谷一夫	阿部則比古
議案第25号	平成28年度仙北市一般会計予算	3/17	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
議案第30号	平成28年度仙北市国民健康保険特別会計予算	3/17	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
議案第40号	平成27年度仙北市一般会計補正予算(第7号)	3/17	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
議案第61号	仙北市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例制定について	3/17	否決	反	反	反	反	反	反	反	反	反	反	反	反	反	反	反	反	賛
議員提出 議案第1号	仙北市職員倫理条例制定について	2/23	可決	全会一致					退			全会一致								
議員提出 議案第2号	意見書の提出について(軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、及びその危険性や予後の相談可能な窓口などの設置を求める意見書)	3/17	可決	全会一致																
平成27年 請願第8号	市内インフラ関連企業の活性化に関する請願書	3/17	可決	全会一致																

凡例：賛→賛成、反→反対、退→退席、欠→欠席（議長は、法律に定める特定のケース以外では表決をしないことになっています）

# 平成28年度 一般会計予算の内訳

**平** 成28年度一般会計予算は、過去5年間で最高額となる190億円となりました。加速している人口減少を食い止めるため、新たに第2子からの保育料無料化や、若者向けの住宅建築補助、医療費助成の拡大（中学生通院まで）など、定住・子育て支

援政策に一層重点が置かれています。昨年で仙北市は合併10年を迎えました。地方人口ビジョン、総合戦略と共に、新たに第2次総合計画を策定し、次の10年、厳しい社会情勢のもとではありますが、更なる市政発展を目指します。



# 平成28年度予算総額3190億円 一般会計予算190億円 特別会計

市職員による贈収賄事件 市長・副市長の減給処分案 再度否決

## 調査特別委員会の報告を重く受け止めよ

**昨** 年12月議会において、「詳しい調査もしていないうちから処分することは時期尚早」として否決された、市職員による贈収賄事件に対する市長・副市長の減給処分案が、定例会最終日（3月17日）に再提案され、賛成1反対17で議会は再度これを否決しました。市議会では、昨年12月、地方自治法第98条に基づく検査権を発動し、「随意契約不正事務処理に関する調査特別委員会」を設置して、これまで徹底した調査を行ってまいりましたが、調査結果は、3月定例会初日の本会議に報告され、不適切な随意契約の実態や、実績価格を大幅に上回る単価での契約、管理体制の機能不全など、本来あってはならない内容が次々に明らかになっています。今回の処分案は議会特別委員会の報告を受けて

再度提案されたものでありますが、議員からは、「議会は独自に調査・報告をしたが、市では未だ細部にわたっての調査がなされていない」「市では、3月末までに調査を取りまとめ報告としていたが、未だ行われていない」、「特別委員会の報告は非常に重いにも関わらず、12月に否決された処分案と同じ内容である。調査特別委員会の報告をどう受け止めているのか疑問」などの反対意見が出されています。また、調査特別委員会では、事態の重さに鑑み、再発防止策の1つとして、本来市が自ら提案するべきである「職員倫理条例」についても提案し（16P参照）、全会一致で可決しており、今後も市に対し、事件の調査・報告と再発防止について訴えて行きます。



否決

再否決